

第3回守山駅東口再整備基本計画策定委員会 摘録

日時：令和6年3月22日（金）午前9時00分から午前10時30分

場所：市役所2階 防災会議室

9：00

【市長挨拶】

第3回守山駅東口再整備基本計画策定委員会の開催にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。本日は、ご多用の中、ご出席賜り誠にありがとうございます。

本日は、前回の委員会で皆様に頂いたご意見を参考に事務局で整理をしました「守山駅東口が目指すまちの将来像」や、「導入する機能」などについて、委員の皆様から専門的なこれまでの経験を活かした忌憚のないご意見を賜りたいと考えております。

前回同様に本委員会で活発なご議論をいただきますようよろしくお願いいたします。

9：05

【出席者紹介】

オンライン参加 3名（委員2名※内1名代理出席 オブザーバー1名）

代理出席 1名

欠席 1名

9：10

報告事項 第3回 守山駅東口再整備基本計画策定委員会について

【主な意見】

※意見なし

9:15

協議事項1 守山駅東口が目指すまちの将来像

【主な意見】

○ビジョンを1から5まで提案されているが、この考え方は、今後の議論や、東口に実装する機能に繋がるもので、方向性を具体的に示したものであるため、これの強弱やどこに力点を置くのかが重要なポイントになると思う。ビジョンの4と5については、駅前空間でインフラとして果たすべき機能、ビジョン1から3については、それをどのように価値を膨らませていくのかという方向性で理解ができるかと思う。

○極端にハードな部分に偏って設定する必要はないと思うが、交通事業者としては、渋滞等の交通状況にも配慮しながら進めていただきたいと思う。

○ワークプレイスの部分で、住みやすさだけではなく、地域として豊かになるといった視点で持続可能なまちづくりを考えておられるのかと思う。

○駅というのは電車に乗ってどこかへ移動するというのが一番の目的であり、ビジョンの4も大きなウエイトを占めると思う。

協議内容2 民間事業者ヒアリングの実施結果について

【主な意見】

○ヒアリングの中でA社とB社については、厳しい意見をいただいている、交通環境や最低限の条件が揃わないと事業として考えることもできないという状況である。何をすべきかを事業者とやり取りしていくことは重要だと思う。

○ネガティブなポイントはありますが、企業進出や出店ができる評価かと思う。

協議内容3 導入機能の検討について

【主な意見】

○茨木市の事例について、権限が市にある大型ビジョンが改札から見える位置に設置されている。守山市役所にもビジョンがいくつか置かれており、市内のイベントの情報等を発信しているかと思うが、圧倒的に駅で見られる方が多いため、駅舎を改修せずともビジョンを設置できるのであれば、設置できると良いと思う。

○効果のところについては、どういった効果があるのかを一旦精査することが第一である。東西機能の強化を行うことで、自転車での東西の行き来がしやすくなり、車から転換することを一定程度認められるのであれば、効果になるかもしれない。どういう整備をすると、どういう影響があるのかを精査していくことがこれからの重要な課題かと思う。

○機能について、例えば昨年のような大雪があった際に避難ができるような場所、避難所が開設されるまでの間一時的に避難ができるような場所は駅舎になるかと思うのですが、これから機能を考える中で防災に関する視点も考えていただければと思います。

○大きな方向性として複合商業施設とワークプレイスを導入するということだが、今の東口は住む場所となっており、車が増えても渋滞が悪化し、自転車や歩行者にとってはいいまちにならないため、複合商業施設やワークプレイス機能と住宅をバランスよく導入していく方向性で良いかと思う。東西アクセス機能ができていないと事業者も入らず、機能は増えても余計混雑して住みにくいまちになってしまうので、抑えるべきポイントだと思う。また、駅舎の中にお店ができるとまち中のお店に行かなくなってしまい、利益を圧迫してしまう。待ち時間を過ごすスペースや避難所などのスペースは必要ですが、お店に関しては考える必要があるかと思う。

○家賃収入が駅前広場やまちに還元される仕組みがあると良いかもしれないため、複合的に考えていただければと思う。

○線路の上空の部分になるのでこういった形で整備が可能なのか、整備をするにしてもどのようなスキームで進めていくのかを協議し検討すべきことかと思う。